

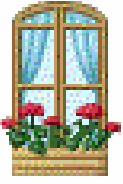
島根の地域医療

第12号

島根県健康福祉部医療対策課 05. May. 01

e-mail: iryou@pref.shimane.jp

▲いつでもどこでも適切な医療が受けられる島根を目指して▼



事務局からこんにちは!

◆平成17年度がスタートし、我が医療対策課もニューフェイスを加え一丸となって様々な困難な状況を飛び越えていこうと意気込んでいます。本年度初月号も盛りだくさんの内容ですが、どうぞご覧ください。

◇研修医等定着特別対策事業開始 =平成17年度新規事業=

新しい年度となり、研修医等定着特別対策事業が動き出しました。4/20(水)には今年度第1回目の臨床研修病院連絡会議が臨床研修病院プログラム担当者会議と合同で行われ、4/29(金)にはパルメイト出雲にて初期臨床研修ガイダンスが開かれました。



このガイダンスは島根県では初めての試みであり、どれだけの医学生さんが参加してくれるのだろうかと心配しておりましたが、結局57名(県外の医学部在籍者4名を含む)の参加がありました。最初に臨床研修指定を受けている11病院に5分間でプログラムの特色などをプレゼンテーションしていただき、その後各病院ごとにブースを設定し、個別に質問を受けていただきました。単に質問だけにとどまらず、医学生さんから希望なども出ており、たいへん充実したガイダンスになったようでした。

今後この事業で、臨床研修病院には総合医養成初期・シニア臨床研修プログラム作成支援、初期臨床研修プログラム発展講習会、初期臨床研修指導医教育技術向上講習会を、研修医・医学生にはシニア研修ガイダンス、研修医意見交換会、ニーズ調査、地域医療セミナー、島根大学医学部の地域医療実習支援を行っていく予定です。島根県で一人でも多くのよき臨床医が育っていただくことを願っております。



【医療対策課 木村】

県のドクターバンクから

●求人・求職取扱状況

(平成17年4月28日現在)

<求人> 29件

邑智郡(病院) / 整形外科、精神科
 浜田市(病院) / 内科
 雲南市(病院) / 内科
 出雲市(診療所) / 胃腸科、肛門科
 邑智郡(病院) / 内科、整形外科、在宅医療
 隠岐郡(その他) / 不問
 鹿足郡(病院) / 内科、外科
 仁多郡(診療所) / 内科
 出雲市(診療所) / 在宅医療
 那賀郡(診療所) / 内科
 鹿足郡(病院) / 放射線科、内科、麻酔科
 益田市(病院) / 内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科
 松江市(病院) / 内科、麻酔科
 浜田市(病院) / 内科、放射線科
 仁多郡(病院) / 精神科
 津和野郡(診療所) / 眼科、内科
 松江市(その他) / 不問
 松江市(病院) / 内科、リハビリテーション
 松江市(その他) / 不問
 仁多郡(診療所) / 内科、小児科
 雲南市(病院) / 麻酔科、精神科
 出雲市(病院) / 内科
 松江市(その他) / 内科
 浜田市(その他) / 内科
 鹿足郡(病院) / 整形外科、内科、リハビリテーション
 松江市(病院) / 内科、整形外科
 邑智郡(病院) / 内科、整形外科、産婦人科、放射線科
 松江市(その他) / 不問
 雲南市(病院) / 麻酔科、精神科、内科、循環器内科、皮膚科

<求職> 1件
 希望の担当科 / 精神科

●申し込み手続き及び詳細につきましては、当紹介所までお問い合わせ下さい。
 【電話番号】0852-21-8813(専用電話)
 【ホームページアドレス】
<http://www.shimane.med.or.jp/dcbank.htm> 【担当:吉岡・塩田】

◇緩和ケアを考える集い報告

県下が春の大雪となった3月13日、多くの医療等関係者、住民の皆さんにご参加いただき、大田市で「緩和ケアを考える集い」を開催しました。

末期がん患者の在宅医療を支援する「ゆめクリニック」(厚木市)院長の玉地任子先生を講師に迎え、「いのち生きなおす～がん患者さんに寄り添って～」という演題で講演していただきました。患者さんである青年についてお話いただきましたが、死と向き合い葛藤しながらも、家族や恋人に愛され生きた様はとても心に響くもので、死に直面したときの心の持ちよう(=「心のギアチェンジ」が必要であること)をご教示いただきました。

シンポジウムでは、家族、訪問看護、かかりつけ医、病院、地域福祉それぞ

れの立場から発表いただき、今回の集いのテーマである「自分らしく生き自分らしい死を迎える」ことができるよう支援するネットワークが、大田地域で着実に育ちつつあることを実感しました。また、池田診療所の長坂ファミリーには、ふるさとを想わせる美しい音楽を演奏していただき、会場を和やかでやさしい空気に包み込んでいただきました。地域に根ざした”手作り”の集いになったと思います。

この集いが、多くの人にとって、どう生きどう死を迎えるかを考えていただけるきっかけになれば幸いです。県では、今後も緩和ケアの推進に向け、地域ネットワークの構築や人材育成などに積極的に取り組んでいきます。



【医療対策課 石橋】

地域医療最前線その16

=いな科の医者診療記=

私は石見の山奥、広島との県境の町で小さな診療所に勤務してマイペースで地域医療を実践してきました。気がつくと12年が経過していました。今では自信を持って「いな科」が専門ですと答えられる域に達しています。

今回はこれまでの経験から地域医療のおもしろさや実践する際のポイント等につき私なりの意見を述べてみたいと思います。

まずは common disease を抑えること。特別難しい事は出来なくても、ごく普通の病気に対して当たり前の対応ができれば9割以上の患者さんの治療が可能です。具体的には高血圧・糖尿病等の慢性疾患の管理、腰痛・膝痛の注射、簡単な縫合やギプス固定、小児の発熱への対応や予防接種が仕事の大部分を占めています。

次に他の医療スタッフとの連携を大切にすること。外来診療だけでは解決

できない問題(独居で痴呆のある老人の血糖管理等)に対して訪問看護師やヘルパー、ケアマネと話し合っ知恵を出し合えば解決策が見つかることしばしばです。

最後に田舎を楽しむこと。車好きの私にとって信号がほとんど無く渋滞とは無縁の田舎道は格好のドライブコースです。特に初夏の新緑の頃にオープンカーで木漏れ日の中を駆け抜ける爽快感は格別で、仕事の疲れも一度に吹き飛ばしてしまいます。これからも気負うことなく田舎の良さを味わいながら、地域医療を続けていきたいと思っています。

【星ヶ丘クリニック 小川 剛



(昭和 58 年自治医大卒)】

研修医のページ その2

2年目の研修を迎えて

新しい臨床研修制度により昨年4月から大田市立病院で研修をさせていただいております。1年目に内科、外科、麻酔科の研修を終え、2年目の今年は産婦人科、小児科、整形外科等の研修を行う予定となっています。

一年を通じて本当に多くの事が経験できたと思います。点滴のオーダーに始まり、診察・診断手順、検査手技といった医師としての基本技術はもちろん、患者さんやその家族との関わり方など。初めはそのいずれにも悪戦苦闘し、手探りしながら少しずつ自分なりに身につけていきました。夢中の内に過ぎ去った一年間でした。

当院は地方の中規模病院といった位置付けになるかと思えます。その気になれば医師、コメディカル共に全員の顔と名前を一致させることが可能です。診療科間の垣根も低く、勤務時間内外を問わず楽しく過ごさせていただいています。症例については、やはり common disease を多く経験でき、初期研修の趣旨からすれば必要十分ではないかと感じています。(もっとも私は整形外科医になる予定ですので、内科系を目指す方とはまたちょっと感じ方が違うかと思えます)。

この研修制度開始後、特に地方での医師不足が加速しています。私たち若い世代ももっと医療情勢に関心を持ち、将来のことを真剣に考えていく必要があると思えます。今後も初心を忘れる事なく研鑽を積んでいきたいと思えます。

【大田市立病院 門脇】



東京から赤ひげ先生

掛合(雲南)に根張り高齢医療を。
古里感覚で7月着任。

医師確保に頭を痛める雲南市掛合町の掛合診療所に、地域の高齢者診療を希望する医師が東京から赴任することになった。7月1日から雲南市職員として医療業務を始める。

赴任するのは、東京都新宿区出身の本多一郎医師(45)。中央法学部を卒業し、民間会社に勤めていたが、「高齢者医療に携わりたい」との思いを強く持つようになり、島根医大に入学。一昨年から今年3月まで、東京ほくと医療生協北足立生協診療所の所長を務めた。専門は内科(家庭医療学)。

本多医師は、県の「赤ひげバンク」に登録。昨年夏ごろ、県内への就労を相談していた。

長期間、地域医療に携わりたい思いから市職員としての勤務を望んだ。雲南市も熱意にこたえ、採用を決めた。

本多医師は「できるだけ長く勤め、高齢者医療に役立ちたい」と話している。

【山陰中央新報 05.4.26 より抜粋】

◇風に吹かれて11

年度替りということもあり、このところ代診に行く機会が多いです。今回はタクシーのなかでの運転手さんとのやり取りをお話します。

JR の駅から降りて診療所までタクシーに乗ったわけですが、運転手さんは私が医師であることがわかると、医療機関で受けた扱いなどを話し始められました。

奥さんが急な腹痛を起こされ病院へ行ったが、あちこちたらいまわしにされたとか、近所のおばさんが手術を受けたがその後何年たっても具合が悪いといった内容でした。こういった場合、普段から真摯に聴くように心がけておりますが、そのうちに今度はよい話になってきました。奥さんはその後別の病院で十二指腸の病気と診断され、適切に検査・手術がなされたということでした。また姪御さんは子供の頃肝臓の病気だったそうですが、手術が成功して今では子供さんもできたとのことでした。このあたりになると運転手さんは感極まって涙目になってきました。

前半のよからぬ話しのなかには誤解もあるとは思いますが、こういった話を通じて、医療従事者は医療行為のみならず、患者さん・ご家族などへの説明等

にも十分に誠意を持ってあたらないといけないと改めて感じました。



【医療対策課 木村】

None Blue Rose



▼この秋「島根県芸術文化センター(愛称:グラントワ)」が開館しますので紹介します。

▽島根県立石見美術館と、島根県立いわみ芸術劇場で構成される芸術文化施設であり、平成 17 年 10 月 8 日、島根県益田市に開館します。

▽島根県芸術文化センターは、美術・音楽・演劇などの質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい文化を育むとともに、その創造を目指します。

▽そのためにも、美術館とホールが連携しながら、芸術とふれあう楽しみを伝えるための活動を行うと同時に、国内外に目を向けた活動を積極的に展開します。

▽また、毎日の生活に潤いや充実感を与え、励ましてくれるような空間や活動を提供する場として、運営を行います。



島根県芸術文化センター「グラントワ」

▼さて、島根県内では先の号でも紹介した「島根県立古代出雲歴史博物館」が平成19年春にオープンします。今後の島根にご注目ください。

▼次号は世界遺産を目指す石見銀山遺跡についてお届けします。

Itaru

青い薔薇は園芸家の夢。藤蔭、明藤色はあっても真の青はないとのことで BlueRose は不可能という意味。NoneBlueRose は私たちの地域医療への熱いメッセージです。



しまね地域医療支援センターの連絡先
(島根県庁医療対策課)

住所変更がありましたら御一報ください。

〒690-8501 松江市殿町1番地

E-mail : iryou@pref.shimane.lg.jp

TEL : 0852-22-5251

FAX : 0852-22-6040

ホームページ [島根の医療] :

<http://www.wah.pref.shimane.jp/med/>